

今から目指す海外大学等進学（アメリカ）

新たな年度が近づいているこの時期は、改めて自分の将来について考えるタイミングです。

「海外の大学に行こう！！」と、今から動きだす人も少なくありません。一方で、今から海外の大学を目指そうと思っても、何から始めて良いのかわからず困ってしまう方も多いようです。

そこで今回は、「今を起点として考えるアメリカの進学パターン」をご紹介しますと思います。

海外大学等へ入学するまでのステップは国によって異なります。

(<https://global10.tokyo/student/basic/system>)

アメリカの場合、9月が新学期です。今から新学期の入学を目指せるのでしょうか。答えは Yes です。それができる最大の理由は、アメリカの大学が書類選考だからです。

アメリカの大学には2年制大学と4年制大学があり、出願書類には願書に加え、高校の成績証明書や英語力テストのスコアレポートが必要となります。難関校ではSATやACTといった統一学力試験の結果やエッセイ、そして推薦状なども必要になりますが、2年制大学の場合、願書と成績証明書だけで選考し、英語力テストスコアも不要という大学もあります。つまり、成績証明書さえ準備ができれば、出願をして可否をもらうことができるのです。英語力に自信がない場合は、1年間は留学生を対象とした英語の授業だけを受けることも可能です。英検準1級程度の英語力がある人は、9月から正規の授業を受けることができますでしょう。

具体的な大学を例に見てみましょう。

ワシントン州シアトル郊外にある Green River College は、州内の4年制大学ばかりでなくカリフォルニア大学、コーネル大学など州外の大学へも多くの編入生を出している2年制大学です。この大学のホームページを確認してみると

(<https://www.greenriver.edu/international/admissions/>)、

出願に必要なものとして、以下の5つが挙げられています。

1. 願書
2. 英文銀行残高証明書（US\$21,000以上のもの）
3. \$50の願書申請料
4. パスポートのコピーと Medical Release Form の提出
5. 16歳以上であること

必要な英語力は TOEFL61 以上、IELTS5.5 以上、その他大学の認可するいずれかのテスト結果で、これらを年4回の入学日に合わせて提出すると、2日ほどで入学許可書が発行されると記載されています。こちらの大学は留学生を対象とした集中英語プログラムがあり、必要な英語力に満たない場合は、この英語プログラムからスタートすることを前提とした入学許可書が出されます。現状では英語力が不足していても、大学入学書類を受け取り、学生ビザの申請・取得、渡航手続きを迅速に進めれば3月に留学手続きを開始しても、9月からの大学入学に十分間に合います。

このような大学は他にもたくさんあるので、「海外の大学に行きたい」と思ったら、留学をサポートする会社などに相談をしてみると情報を集められます。一般的に相談は無料、留学手続き等を依頼すると料金が発生という会社が多いので、ご家族で留学実現までのステップとサポート内容について、情報収集をされると良いでしょう。

海外では、どこの大学に入学するかより、どの大学を卒業するかが重要だと言われています。どの大学からスタートして、どの大学を卒業して、どんな将来を描くことができるのかを考えてみてはいかがでしょうか。